

気仙沼市震災遺構等の管理運営について

平成30・31年度における気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館の管理運営については、本年8月に策定した気仙沼市震災遺構等管理運営基本計画を基に、震災伝承活動を行っている団体や博物館等の指定管理受託実績がある団体とヒアリングを行い、その内容を踏まえながら、下記のとおり実施する予定です。

記

1 組織計画（管理運営方式）について

（計画）

震災伝承活動を行っている団体や博物館等の指定管理受託実績がある団体にヒアリングを行い、本年10月までに管理運営方式を決定する。

【管理運営方式の例】

- ・市直営（一部業務委託）
- ・指定管理者制度で収受代行制
- ・指定管理者制度で利用料金制
- ・業務分割方式（市直営と指定管理者の業務を分割し、市と指定管理者が常時協議しながら、それぞれの業務を実施）



（平成30・31年度実施案）

開館から5年程度は、「業務分割方式（市直営と指定管理者の業務を分割し、市と指定管理者が常時協議しながら、それぞれの業務を実施）」を採用し、入館料及び研修室等使用料は市の収入とする「収受代行制」とする。

なお、責任者となる館長には市職員を配置し、館長が指定管理者等の意見を聞きながら年度事業計画を立案し、その進捗管理を行うものとする。

(1) 市が直営で行う業務の範囲

- ア 東日本大震災遺構の保全に関する業務
- イ 東日本大震災遺構・伝承館の事業計画立案、進捗管理に関する業務
- ウ 資料の収集・展示・保存に関する業務
- エ 大学や自主防災組織等と連携した防災・減災意識の普及啓発活動に関する業務

(2) 指定管理者の業務の範囲

- ア 東日本大震災遺構・伝承館の運営に関する業務
- イ 東日本大震災遺構・伝承館の誘客促進に関する業務

- ウ 東日本大震災遺構・伝承館の利用の許可に関する業務
- エ 東日本大震災遺構・伝承館の入館料及び利用料金の徴収に関する業務
- オ 東日本大震災遺構・伝承館及び当該施設の設備の維持管理に関する業務

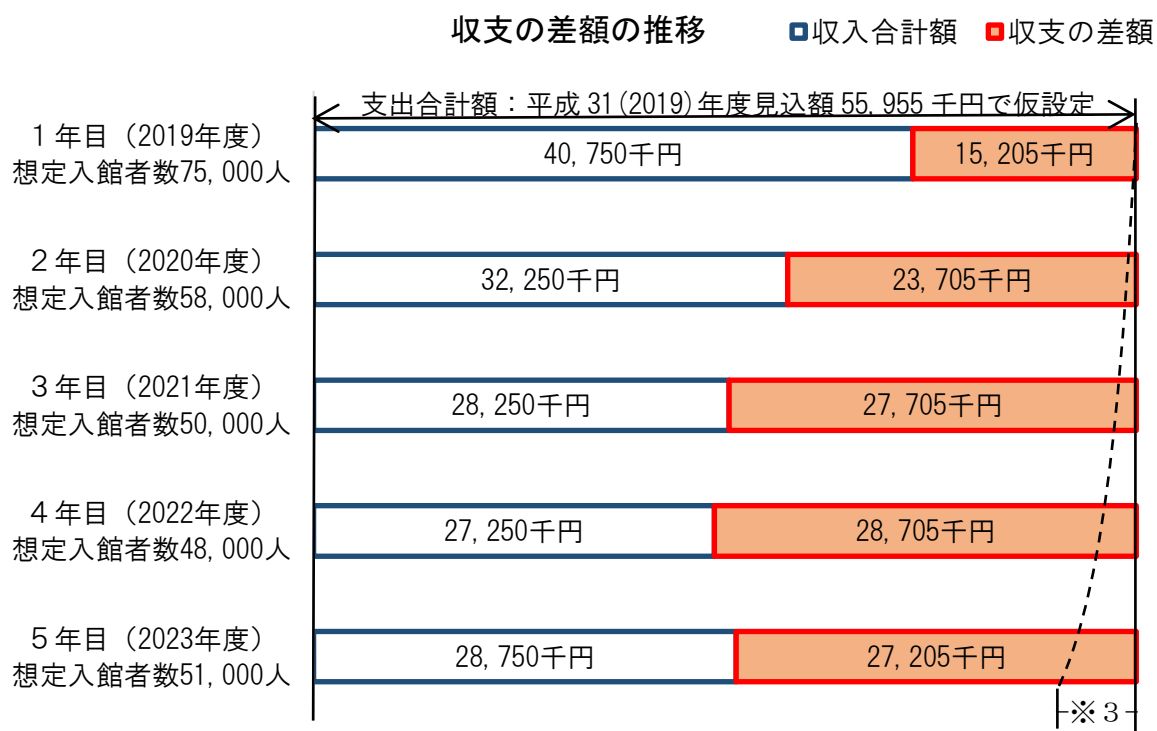
(主な理由)

- ・安定した入館者数を確保するためには、施設の運営や観光業に精通する民間事業者のノウハウが必要と考えるが、民間事業者にとっては、入館者数が想定どおりになるか判断がつきにくく、応募に対するハードルが高いものになっているため。

2 収支計画について

(計画(開館5年目) - 既提示 -)

収支の差額：収入合計額 31,445千円 - 支出合計額 49,381千円 = △17,936千円



※1 平成30年度は、平成31年1月から指定管理業務を開始し、平成31年3月中の開館を予定しているため、実質の開館1年目を平成31年度とした。

なお、平成30年度の指定管理料は、3か月分の指定管理業務に開館準備業務を加えて、22,711千円を見込む。

※2 各年の想定入館者数は、「震災遺構保存整備に係る調査業務報告書(平成27年3月)」の数値を使用。

※3 支出合計額について、計画（開館5年目の金額）では49,381千円（税抜き・税込みの場合は53,332千円）としているが、指定管理者の公募を控え、企業等が応募する際の検討材料にもなることから、便宜上、5年間同額とし、以下で説明する平成31年度見込額の55,955千円（税込み）で仮設定した。

なお、指定管理料については、防災・減災教育施設としての機能を維持しながらも、多大な財政負担にならないよう、決算状況や入館者属性等による経営分析を半期ごとに行い、より効率的かつ効果的な運営やセールスにつなげることで圧縮を図る。

（平成31年度における収支算定の考え方）

○収入の部

- ・震災語り部や防災教育プログラムの提供は、市内関係団体で実施することとし、諸収入で見込んでいた研修参加料等を減額（△3,120千円）など

○支出の部

- ・人件費の増額（7,629千円増）

計画：館長（非常勤（仮））1人分、一般職員5人分（うち人件費が0.5人分相当の職員2人分）、臨時職員（パート）2人分として、18,506千円

※上記の外、視察対応・防災教育担当職員として、市職員を2人配置

実施案：一般職員5人分、嘱託職員3人分として、26,135千円

※上記の外、館長1人及び視察対応・防災教育担当職員1人の合わせて2人の市職員を配置

※人件費の算定に当たり、一般職員の給与については、指定管理者となる企業等の職員が当該企業等の本来業務を兼務することを想定し、1人であっても0.5人分の人件費で計算していたが、開館間もない平成31年度においては、相当な混雑が予想されることから、専従職員として雇用するため、1人分の人件費として算定する。

- ・指定管理者制度の導入により、消費税を追加（4,145千円増）など

【平成31年度（想定入館者数75,000人）の収支予測】

※前回説明資料からの変更箇所 下線部（計：計画額、見：平成31年度見込額、追：追加項目・平成31年度見込額）

○収入の部

（単位：千円）

科目	業務名・内容	数量	単位	金額	備考
I 収入合計				40,750	
1 入館料関係（市の収入）					
大人（高校生以上）	<u>75,000人</u> ×60%	<u>45,000</u>	人	<u>27,000</u>	@600円
中学生	<u>75,000人</u> ×20%－500人	<u>14,500</u>	人	<u>5,800</u>	@400円

	減免想定人数 500人	500	人	100	@400円× 1/2
小学生	$75,000人 \times 20\% - 500人$	<u>14,500</u>	人	<u>4,350</u>	@300円
	減免想定人数 500人	500	人	75	@300円× 1/2
小計		75,000	人	<u>37,325</u>	
2 貸館関係 (市の収入)					
会場使用料	研修室A・B 体験交流ホールA・B <u>夜間・休日使用料</u>			3,000 <u>追 425</u>	市地域交流 センターの 2倍相当額 を想定
小計				<u>計 3,000</u> <u>見 3,425</u>	
3 諸収入 (実施団体等の収入)					
研修参加料	1,000円/円	2,600	人	<u>計 2,600</u> <u>見 0</u>	防災・減災 研修参加料
手数料収入	200円/団体	800	団体	<u>計 160</u> <u>見 0</u>	体験・教育 プログラム あっせん手 数料1団体 200円×800 団体
その他物販・自販機 収入		12	月	<u>計 360</u> <u>見 0</u>	書籍・飲料 等
小計				<u>計 3,120</u> <u>見 0</u>	

○支出の部

(単位：千円)

科目	業務名・内容	数量	単位	金額	備考
II 支出合計				<u>計 49,381</u> <u>見 55,955</u>	

1 人件費関係					
計画：館長(非常勤(仮))1人，一般職員5人(うち人件費が0.5人分相当の職員2人)，臨時職員(パート)2人		8	人	計 18,506 見 26,135	・法定福利費等を含む。 ・市職員の人件費は含まない。
実施案：一般職員5人，嘱託職員3人					
小計				計 18,506 見 26,135	
2 事業関係経費					
旅費交通費	旅費交通費	12	月	396	
旅費交通費計				396	
会議費・諸謝金	会議費用	14	回	154	
	運営協議会	2 0	回	計 44 見 0	
	ボランティア運営費	12 0	月	計 660 見 0	
会議費・諸謝金計				計 858 見 154	
通信運搬費	郵便・宅配料金	12	月	660	
通信運搬費計				660	
事業費	地域交流イベント	2	回	220	
	広報チラシ制作費	4 2	回	計 880 見 440	
	その他広報費	6	回	132	
	企画展示等	1	式	計 198 見 119	
事業費計				計 1,430 見 911	
消耗品費	全体運営管理に関する消耗品	12	月	660	
	植栽管理消耗品	12	月	264	
	外構管理消耗品	4	回	880	
消耗品費計				1,804	
小計				計 5,148 見 3,925	

3 管理運営経費					
光熱水費	電気料金	12	月	4,224	1280㎡×@ 250
	水道料金	12	月	470	
	車両燃料費	12	月	計 396 見 198	
	機械燃料費	12	月	計 264 見 100	
光熱水費計				計 5,354 見 4,992	
外部委託費	廃棄物処理費用	12	月	330	
	機械警備	1	式	334	
	受変電設備保守点検	6	回	317	
	受変電設備保守点検	1	回	44	
	空調設備点検	2	回	440	
	消防設備保守点検	1	式	110	
	消防設備保守点検	1	式	132	
	遊具安全点検	1	式	165	
	建築物定期検査	1	回	165	
	常用昇降機設備保守点検	12	回	1,214	
	照明設備保守点検	2	回	209	
	日常清掃	1	人工	1,056	
	定期清掃	2	回	418	
	特別清掃	1	式	568	
	貯水槽清掃	1	式	220	
	水質検査	1	式	110	
	自動ドア保守点検	4	回	286	
	浄化槽保守点検	1	式	495	
	夜間管理	1	式	追 150	
外部委託費計				計 6,613 見 6,763	
消耗品費	植栽管理備品	4 0	式	計 416 見 0	
	清掃消耗品	12	月	132	
	その他消耗品	12	月	計 660 見 531	

	帳票印刷費	1	式	139	
消耗品費計				<u>計 1,347</u>	
				<u>見 802</u>	
什器備品費	事務用品・消耗品	12	月	<u>計 1,188</u>	
				<u>見 258</u>	
	指定管理者印鑑	1	個	<u>計 17</u>	初年度のみ
		0		<u>見 0</u>	
	災害時対応用品購入	1	式	<u>計 330</u>	初年度のみ
		0		<u>見 0</u>	
什器備品費計				<u>計 1,535</u>	
				<u>見 258</u>	
通信運搬費	電信電話料	12	月	528	
	WEB回線使用料	12	月	26	
	放送受信料	1	年	39	
	運搬費	12	月	264	
	無線機5台	12	月	198	
	Wi-Fi料金	12	月	660	
通信運搬費計				1,715	
修繕費	備品修繕費	12	月	<u>計 660</u>	
				<u>見 240</u>	
修繕費計				<u>計 660</u>	
				<u>見 240</u>	
賃借料	OA機器借用料	1	年	31	
	PCリース	9	台	<u>計 297</u>	
		8		<u>見 240</u>	
	複合機	12	月	528	
	リースマット	12	月	<u>計 254</u>	
				<u>見 0</u>	
	券売機保守	1	年	<u>計 660</u>	
				<u>見 0</u>	
	監視カメラシステム	12	月	198	
賃借料計				<u>計 1,968</u>	
				<u>見 997</u>	
租税公課	各種契約等印紙等	1	年	<u>計 204</u>	
				<u>見 205</u>	

	消費税 (8%)	1	式	追 4,145	
租税公課計				計 204 見 4,350	
その他	新聞代	12	月	95	
	被服費	1	式	計 396 見 24	
	研修費	4 4	回	計 110 見 380	
	ネットワーク構築架設費用	4 0	式	計 286 見 0	初年度のみ
	WEB運用管理費	12	月	計 396 見 415	
	図書費	12	月	132	
	手数料	1	式	22	
	運営管理費 (全体経費の10%)	1	式	計 4,894 見 4,710	
その他計				計 6,331 見 5,778	
小計				計 25,727 見 25,895	

※自主事業に係る収入支出を除く。

3 開館準備業務について

(1) 目的

平成31年3月に開館する気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館において、入館者に対し、館内ガイドや震災語り部、防災・減災教育プログラムの提供等を行うため、その準備に要する事項及び履行方法を定め、開館から円滑に提供できるよう準備業務を委託する。

(2) 業務内容

- ・震災遺構等を拠点として、震災伝承（震災語り部・館内ガイド）及び防災・減災教育プログラムを提供するための体制づくり（市内関係団体との調整、連携体制の構築、実施主体となる個人・団体サポーターの募集・登録・育成）
- ・提供メニュー及びモデルプランの作成
- ・施設管理者と連携して事業展開するための運営マニュアルの作成
- ・館内ガイドマニュアルの作成

(3) 委託期間

平成30年10月5日から平成31年2月28日まで

(4) 委託先

けせんぬま震災伝承ネットワーク

- ・ 設 立 日：平成30年9月26日
- ・ 設立目的：東日本大震災の伝承活動や防災・減災活動を行っている個人及び団体の交流・連携を図り，将来にわたり東日本大震災の記憶と教訓を伝え，防災力の高い地域づくりに資する。
- ・ 代 表：階上地区まちづくり協議会語り部部会 会長 近藤公人
- ・ 構成団体（設立日時点）

階上地区まちづくり協議会語り部部会，一般社団法人ボランティアステーションin気仙沼，気仙沼防災教育推進委員会，一般社団法人気仙沼観光コンベンション協会，一般社団法人気仙沼復興協会の5団体

4 経過及び今後のスケジュール

- 平成30年7月31日 岩井崎プロムナードセンター整備検討会議で説明
- 9月7日 条例案を提出（市議会9月定例会）
- 9月7日 市議会震災調査特別委員会で計画を説明
- 10月5日 開館準備業務開始
- 10月11日 市議会震災調査特別委員会で平成30・31年度の管理運営について説明
- 10・11月 指定管理候補者の募集・選定
- 12月 指定管理者の指定に係る議案を提出（市議会12月定例会）
平成30年度補正予算案に計上（市議会12月定例会）
- ・ 債務負担行為の設定
 - ・ 開館準備業務委託料11,000千円のうち1,000千円を「けせんぬま震災伝承ネットワーク」に委託する開館準備業務委託料として支出し，残額の10,000千円を平成30年度分の指定管理料に予算組替し充当
- 平成31年1月 指定管理業務開始
- 2月 平成31年度当初予算案に計上（市議会2月定例会）
- 3月中 開館

【参考：平成30年度の支出予測】

(単位：千円)

科目	業務名・内容	数量	単位	金額	備考
○ 支出合計				22,711	
1 人件費関係					
実施案：一般職員5人，嘱託職員3人		8	人	5,333	・法定福利費等を含む。 ・市職員の 人件費は含まない。
小計				5,333	
2 事業関係経費					
旅費交通費	旅費交通費	3	月	59	
旅費交通費計				59	
会議費・諸謝金	会議費用	3	回	39	
会議費・諸謝金計				39	
通信運搬費	郵便・宅配料金	3	月	165	
通信運搬費計				165	
事業費	入館チケット作成	80,000	枚	1,815	※開館準備
	館内リーフレット作成	100,000	部	5,348	※開館準備
	ホームページ作成	1	式	951	※開館準備
	その他広報費	1	式	420	※開館準備
事業費計				8,534	
消耗品費	全体運営管理に関する消耗品	1	式	66	
	植栽管理消耗品	1	月	17	
	外構管理消耗品	1	回	33	
消耗品費計				116	
小計				8,913	
3 管理運営経費					
光熱水費	電気料金	3	月	1,056	
	水道料金	3	月	118	
	車両燃料費	3	月	50	
	機械燃料費	3	月	25	
光熱水費計				1,249	
外部委託費	廃棄物処理費用	1	月	83	

	機械警備	1	式	84	
	受変電設備保守点検	1	回	80	
	受変電設備保守点検	1	回	11	
	空調設備点検	1	回	110	
	消防設備保守点検	1	式	28	
	消防設備保守点検	1	式	33	
	常用昇降機設備保守点検	1	回	304	
	照明設備保守点検	1	回	53	
	日常清掃	1	人工	264	
	定期清掃	1	回	105	
	水質検査	1	式	28	
	自動ドア保守点検	1	回	72	
	浄化槽保守点検	1	式	124	
外部委託費計				1,379	
消耗品費	植栽管理備品	1	式	38	
	清掃消耗品	1	月	33	
	その他消耗品	1	月	60	
	帳票印刷費	1	式	70	
消耗品費計				201	
什器備品費	事務用品・消耗品	1	式	356	※開館準備
什器備品費計				356	
通信運搬費	電信電話料	3	月	132	
	WEB回線使用料	3	月	7	
	放送受信料	1	年	10	
	運搬費	3	月	66	
	無線機5台	3	月	50	
	Wi-Fi料金	3	月	165	
通信運搬費計				430	
賃借料	OA機器借用料	3	月	8	
	PCリース	8	台	60	
	複合機	3	月	132	
	監視カメラシステム	3	月	50	
賃借料計				250	
租税公課	各種契約等印紙等	1	月	51	
	消費税(8%)	1	式	1,682	
租税公課計				1,733	

その他	新聞代・図書費	1	月	58	
	被服費	1	式	400	
	研修費	4	回	100	
	ネットワーク構築架設費用	1	式	286	※開館準備
	WEB運用管理費	3	月	104	
	手数料	1	式	7	
	運営管理費（全体経費の10%）	1	式	1,912	
	その他計			2,867	
	小計			8,465	

※自主事業に係る収入支出を除く。